



手を診る力(ちから)を鍛える —手のかたち・手の動き、診断への手ほどき—

私たちは評価法『NOMA手・上肢機能診断』を開発し、普及させる活動を続けています。さいわい多くの作業療法士の方々から、手の機能の見方が変わった、訓練計画がたてやすくなった、などの感想を頂いています。

この診断法に含まれる“手のかたち・手の動き”の検査は、同診断法独自の項目であるとともに、中核部分でもあるという性格をもっています。このため、健常手のかたちと動きの類型を詳しく知っていただくことが、同法を理解し利用して頂くための要になると考え、セミナーを企画しました。

当日は参加者の目と手を使いながら、健常手のかたちと動きのイメージを脳に焼きつけていただけるよう努めます。『NOMA手・上肢機能診断』を使う、使わないにかかわらず、手の機能と評価について、理解を深めていただけるものと思います。

主催 NOMAハンド・ラボ (代表:鎌倉矩子&中田眞由美)

日時 2009年8月30日(日) 10:00~16:20

場所 埼玉県立大学

※アクセスは『埼玉県立大学ホームページ』にてご確認ください(<http://www.spu.ac.jp/>)

参加費 5000円(資料代含む)

定員 約50名(原則として先着順)

プログラム

10:00	開会	大滝 恭子
10:05~	1)手の機能をみる視点 2)手の静的フォーム(把握と非把握の類型)	鎌倉 矩子
12:05~	(昼休み)	
13:00~	3)手の動きのパターン(表記法と基本類型)	鎌倉 矩子
14:00~	4)フォーム・パターン表記を使ってできること 5)『NOMA手・上肢機能診断』法	中田眞由美
16:00~16:20	Q&A	山口 美樹

◎お申し込みはメールで。但しケータイからのお申し込みはお断りします。件名に「NOMA夏期セミナー2009」と書き、①氏名、②所属、③所在地、④電話番号、⑤実践領域と経験年数、⑥メールアドレス(但しパソコンアドレスのみ)、⑦参加希望の動機、⑧お弁当希望の有無(600円程度、お茶つき)を記して送ってください。

申し込み宛先は;noma@spu.ac.jp

◎申し込みの締め切り:7月31日(金) 24:00

◎お申し込みの諾否を、8月4日(火)までに、お申し込みのアドレス宛に返信いたします。

※問い合わせ先:.....埼玉県立大学 中田眞由美noma@spu.ac.jp

メモ1. NOMA手・上肢機能診断』の手順、記録紙、検査用品の詳細は、『NOMAハンド・ラボ』<http://www.noma-handlab.com/> に公開されています。

メモ2. 絶版となっていた『手のかたち 手のうごき』(鎌倉矩子著、医歯薬出版、1989)は本年4月からオンデマンド出版として復刻されました。

↳詳しくは『オンデマンド万能書店』<http://www.d-pub.co.jp/>